

2011年 第24回 和歌山コールドカップ

レース公示(Notice of Race)

1.主催団体

主催

和歌山県セーリング連盟

運営

和歌山ジュニアヨットクラブ、NPO法人和歌山セーリングクラブ

後援(予定)

和歌山県、和歌山県教育委員会、社団法人和歌山県体育協会

和歌山市、和歌山市教育委員会、和歌山市体育協会

2.規則

- 2.1 2009-2012 セーリング競技規則(以下 RRS とする) 定義された「規則」。
- 2.2 RRS 付則 P を適用する。
- 2.3 RRS 61.1(a)の「(2)艇体の長さが 6 メートル未満の艇は、赤色旗を掲揚する必要はない。」を削除する。抗議用の赤色旗を用意すること。

3.広告

主催団体は各競技艇に対し大会スポンサーの広告を艇体に表示するよう要求する場合がある。

4.競技種目

国際 OP 級「A クラス」(上級者)、「B クラス」(初心者)

5.資格および参加

- 5.1 A クラスの出場者は、2010 年度日本セーリング連盟会員及び 2010 年度日本 OP 協会会員の者。
- 5.2 所定の参加申込書で、2011 年 1 月 31 日(月)までに必着で、e メール、FAXにて申し込むこと。

なお、サポートボートを使用する場合は、サポートボートの登録を大会受付で行うこと。

申込み先

和歌山セーリングセンター

TEL 073-448-0251、FAX 073-494-3252、Mail info@wakayama-sailing.org

6.参加料

- 6.1 5,000 円/艇(2/12~13 のマリーナ使用料を含む)
- 6.2 参加料は大会受付で原則としてクラブ単位で徴収する。

7.日程

2 月 12 日(土)

07:00 マリーナ開門
08:30~09:20 大会受付
09:20 開会式・艇長会議
10:25 最初のクラスの 1 日目第1レースの予告信号
引き続きレースを行う。

2 月 13 日(日)

08:00 マリーナ開門
09:25 最初のクラスの 2 日目最初のレースの予告信号
引き続きレースを行う。
ただし、14:00 以降に予告信号が発せられることはない。

16:00(予定) 閉会式、表彰式

- 7.2 本大会は最大 7 レースまでとする。
- 7.3 各日とも海上での昼食を予定しているので、各自で用意のこと。

8.計測

- 8.1 大会期間中 ハル、タガーボード、ラダー、マスト、ブーム、スプリット、セールを各1つのみ使用できる。
- 8.2 損傷または紛失した装備品の交換はレース委員会の書面による承認がなければ許可されない。
なお、損傷または紛失した装備品の交換が海上の場合には、損傷または紛失したことが海上のレース委員会によって確認された後、許可される事がある。交換した装備品は、その日のレースの終了後にレース委員会の書面による承認を得なければならない。
- 8.3 大会期間中に、陸上、海上を問わず計測が行われることがある。

9.帆走指示書

帆走指示書は2月11日までに大会WEBサイトで公開する。

10.開催地

和歌山ナショナルトレーニングセンター(和歌山セーリングセンター)及び和歌浦湾
添付1図にレース・エリアの場所を示す。

11.コース

添付2図「レース・コース」に示す。

12.得点

12.1 1レースの完了で本大会は成立する。

12.2 (a) 完了したレースが3レース以下の場合には、全レースの合計得点とする。

(b) 完了したレースが4～7レースの場合には、最も悪い得点を除外した合計得点とする。これは付則A2を変更している。

12.3 NOR13、14による得点ペナルティーがDSQよりも得点が悪くなる場合は、得点ペナルティーはDSQと同じ得点とする。

13.安全

13.1 選手は海上ではクラス規則 4.2(a)に従い常に適切な個人用浮揚用具(PFD)を着用しなければならない。ただし、一時的に衣類を着脱する場合を除く。これはRRS40を変更している。

13.2 クラス規則 3.3.4、4.2(a)(b)、4.3(a)(b)(c) に違反した選手は、違反が認められたレースについて、審問を経ないでペナルティーとして5点が加算される。

14.支援艇

14.1 支援艇はレスキューボートとみなされ、以下の条件を満たす場合のみ使用を許可する。

a) 参加申し込み時に申請用紙にてレース委員会に使用を申請し、許可を受けること。申請、許可なき艇の出艇は認められず、乗艇者数を2名以上、定員の1/2以下と制限する。

b) 支援艇はレース委員会が支給する『ピンク色』旗を掲揚しなければならない。

c) 常時は支援艇として航行範囲の制限を守り、レース委員会からレスキューボートとしての要請があれば、いつでもこれに応じること。この要請があった場合のみ制限範囲内への進入を認める。

d) ハーバーに対する搬入手続きおよびハーバー使用料支払いは、各自で行うこと。

e) 支援艇は、ヨットモータボート保険(対人対物賠償責任保険及び搭乗者傷害保険を含む)に加入していなければならない。

14.2 海上でレース委員会から支援艇への支援要請は、レース委員会艇に『ピンク色』旗を掲揚して通告する。

14.3 支援艇の運行についてレース委員会の指示に従わなかった場合は、運行の停止を命じることがある。加えて支援艇が関与する選手に罰則が与えられる場合がある。

15.賞

15.1 「Aクラス」1～3位、「Bクラス」1～3位

※但し参加艇数により変更する場合がある。

16.責任の否認

このレガッタの選手は自分自身の責任で参加する。RRS4「レースをすることの決定」を参照。主催団体等は、レガッタの前後、期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任を負わない。

17.保険

選手は、最低一億円または同等の、有効な第三者賠償責任保険に加入していなければならない。
(<http://www.sportsanzen.org/index.html>を参照)

18.その他

18.1 Aクラスの上位者に、2011年度OP級全日本選手権出場資格が与えられるよう日本OP協会に申請する。(2010年度実績2名)

18.2 チャーター艇は、先着順で10艇用意される。チャーター料は大会期間中で6,000円となる。

19.大会事務局(参加申込先)

和歌山セーリングセンター

〒641-0014 和歌山市毛見1514番地、TEL 073-448-0251、FAX 073-494-3252

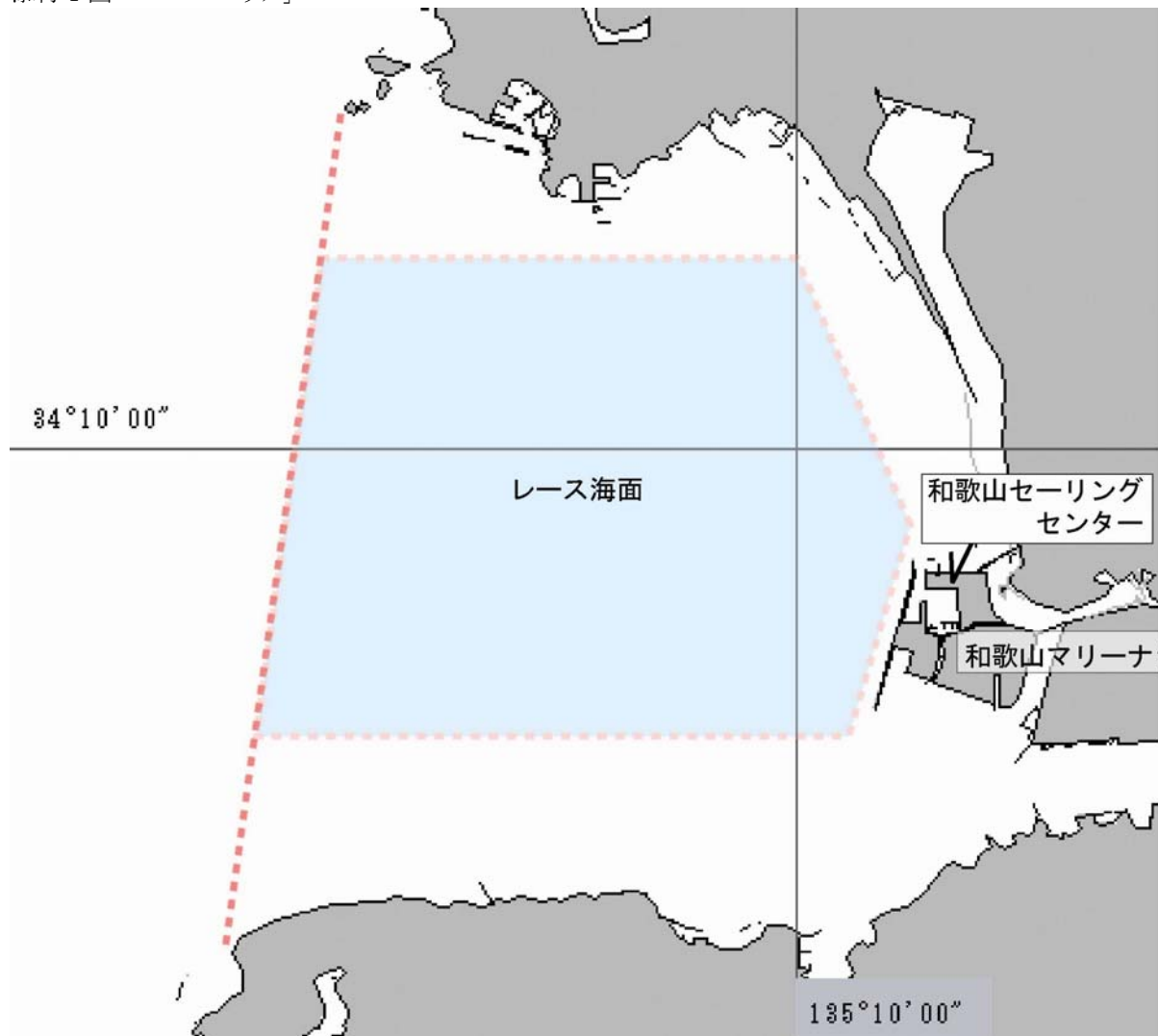
Mail info@wakayama-sailing.org

大会WEBサイト(和歌山セーリングクラブホームページ内)

<http://www.wakayama-sailing.org>

和歌山セーリングセンター 営業時間9:00～17:00 火曜日定休日

添付1図「レース・エリア」



添付2図 「レース・コース」

コース (クラス旗)  スタート→①→②→③→フィニッシュ

角度はおおよそ。

サポートボートは救助時以外、
各コースから150m以上離れること

